

収支計算書に対する注記

(一般会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、銀行預金、事業引当資産、預り金を含めている。
なお前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位＝円)

科目	前期末残高	当期末残高
預金		
事業引当資産	7,107,433	7,053,138
合計	7,107,433	7,053,138
預り金	0	36,890
合計	0	36,890
次期繰越収支差額	7,107,433	7,016,248

(特別会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、銀行預金、郵便振替、未収金、立替金、未払金、預り金を含めている。なお、前期末および当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 棚卸資産の評価方法

商品棚卸の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位＝円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	396,683	259,223
郵便振替・未収金	31,663	188,643
立替金	16,490	16,490
合計	444,836	464,356
未払金	20,000	20,000
預り金	0	0
合計	20,000	20,000
次期繰越収支差額	424,836	444,356